

伊賀市立上野総合市民病院

# 広く市民に信頼される病院を目指して

伊賀地域のの中核病院として60年以上にわたり、地域医療を担ってきた伊賀市立上野総合市民病院。がん治療や救急医療などを柱に19診療科、281床を有しており、その診療圏は伊賀市を含む三重県西部に加え、京都府や奈良県の一部にも及んでいる。



ヘリポートは平成27年3月10日に完成。特に重症度や緊急性の高い患者の転院搬送にドクターヘリの運用を行っている

## 医療体制の充実を図りつつ 住民の健康を支えてきた

伊賀市立上野総合市民病院は昭和30年4月、上野市丸之内に「上野市民病院」として発足。当時は内科、外科、小児科、産婦人科の4科であった。

翌年6月には「上野市国民健康保険直営市民病院」となる。昭和33年より工事が行われ、鉄筋コンクリート造りに改築された。その後、施設の老朽化と敷地の狭さから、医学の進歩への対応と地域医療の確保が難しいと、移転事業が進められる。

昭和52年12月、現在地に新築移転した。翌53年2月に名称を「上野総合市民病院」と改め、13の診療科を持つ新病院として、新たなスタートを切った。

平成8年3月に西館の増築を行った。新病棟には回復室、人工透析療法、磁気イメージング装置、全身用コンピュータ断層装置、自動化学分析装置、超音波断層装置、アンギオ装置などを設置し、時代に即した医療サービスの充実を図った。この年、災害拠点病院に指定された。

平成11年度以降、人間ドックなど地域における健康管理、在宅介護支



伊賀市四十九町の高台に建つ伊賀市立上野総合市民病院。昨年新たに女性医師・女性スタッフによる「乳腺センター」を開設し、近年急増している乳がんなど乳腺疾患に対応している

## 市民に安心した医療を提供できるよう 公立病院としての役目を果たしていく

を受けた。

救急医療体制の充実を図るべく、平成27年3月にはヘリポートを設置した。平成28年10月、地域医療支援病院として県の承認を受ける。

伊賀地域では唯一となる3D内視鏡システム（平成29年）、高画質で高速撮影が可能な最新鋭MRI（今年4月）を導入するなど、近年も高度医療の整備に努めている。

また、地域に根ざした医療と市民の健康への関心醸成を目的に、市民公開講座や出前講座などを開催してきた。市民公開講座には毎回1000人前後の参加者があり、アンケートには好評の声が多い。

## 危機的な状況が続いた病院 経営改善と再生に向けて

昭和30年の開設以来、順調に推移してきた同院だが、深刻な医師不足に悩まされ、平成17年度を最後に赤字に転落してしまう。その当時24人いた常勤医師が年々減っていくに伴い、外来患者数、入院患者数が減少し、病院収支も落ち込んでいったのだ。

三木誓雄前院長が赴任した平成23年1月、全5病棟のうち2病棟しか稼働しておらず、入院患者数は60人に満たなかったという。累積赤字は31億円に達しており、公立病院としての存在意義が問われる状況にあった。

### information

## 伊賀市立 上野総合市民病院

伊賀市四十九町831  
TEL 0595-24-1111  
http://www.cgh-iga.jp/



院内託児所「バンビ」の利用は、看護師の勤務時間に対応。家庭的な落ち着いた雰囲気、安心して子どもを預けられる

## 医療現場の最前線で働く看護師 働きやすい環境づくりを推進!

伊賀市立上野総合市民病院では、看護師不足も課題のひとつ。看護部ではワーク・ライフ・バランス推進に取り組んでいる。

院内託児所、日勤シフトや時短といった優遇制度、育児休業制度、結婚や出産などで退職した看護師の復帰支援制度など、育児と仕事が両立しやすい職場づくりに努めてきた。また、給食配膳やシーツ交換などを業務委託し、看護師の業務軽減を図っている。

さらに看護の質の向上、人材育成にも力を注いでおり、専門看護師・認定看護師などの資格取得に向けた支援や新人看護師の教育体制も充実している。

「産後1年で当院に就職しました。院内託児所に子どもを預け、最初はパートとして勤務して、今は正規職員です。子育てをしながらも働きやすい職場ですから、復帰もしやすいと思います」と看護師の井垣昌子さん。

「公立病院として地域の医療を支えるために、いっしょに働きませんか」と看護部長の中井より子さんは呼びかける。



左から看護部長・中井より子さん、内科病棟担当の看護師・井垣昌子さん。医療チームの一員として、医師や看護師間のコミュニケーションは欠かせない



総合窓口に関連して開設された「入退院支援室」。入院前から退院後まで、患者やその家族のさまざまな不安や相談に応じている



(左・中)小中高生、専門学校生、大学生を対象に、医療の現場を疑似体験できる「オープンホスピタル-病院で働こう」を開催。昨年は193人の参加があった(右)患者やその家族からの意見や要望を「患者さんの声」として聞き、改善を図っている

## より質の高い医療の提供と 地域に密着した取り組み

平成16年11月、伊賀市の誕生に伴って「伊賀市立上野総合市民病院」と改称した。

市民の健康増進施設として、健康・健診センターが平成19年に設立される。

平成23年4月には、がんサポート・免疫栄養療法センターを開設。がん治療認定医を中心とするチーム医療によって、患者個々への治療やサポートを行っている。平成25年3月にはがん診療連携推進病院、平成30年4月にがん診療連携病院の指定を